

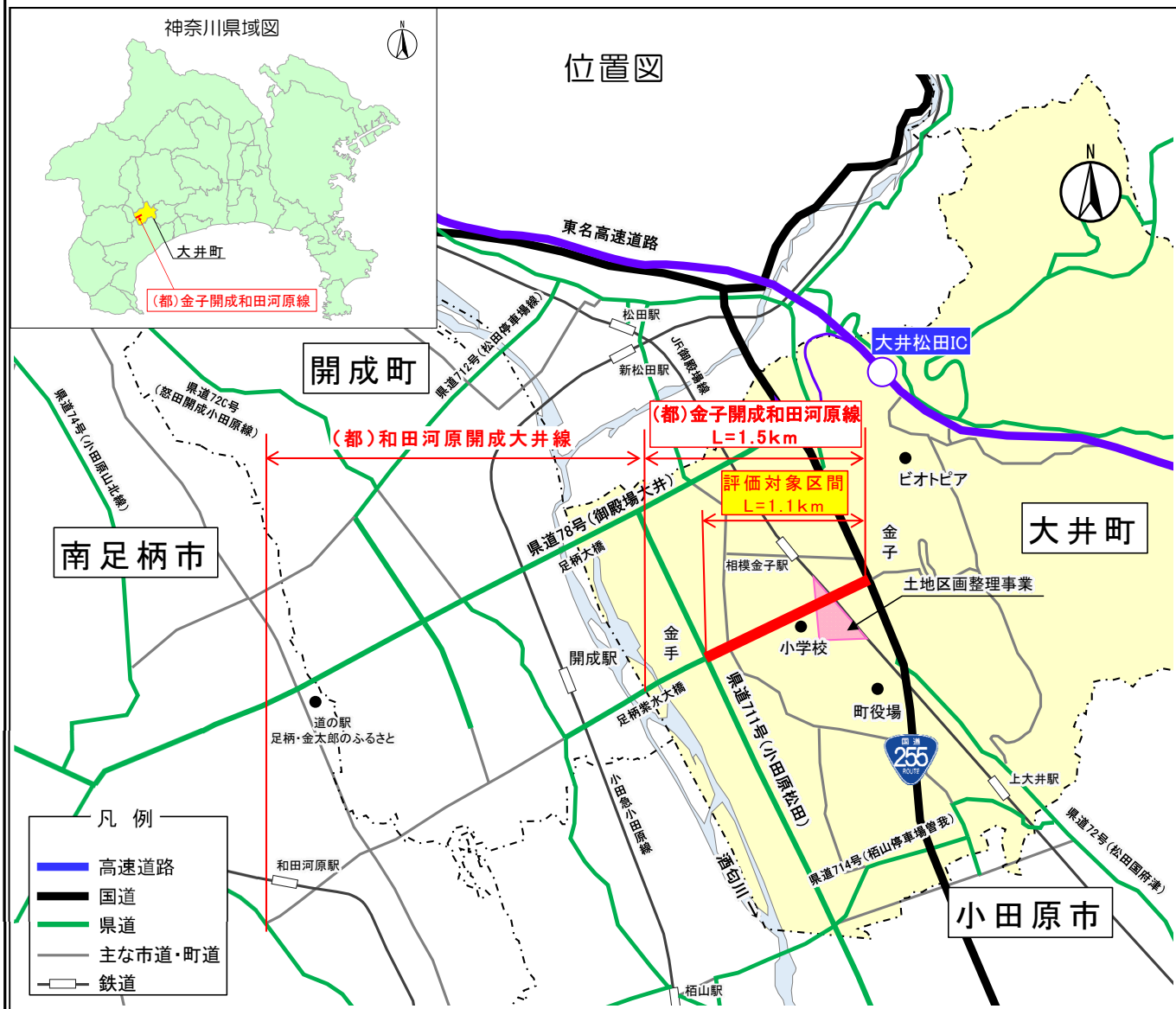
No. 2 都市計画道路 金子開成和田河原線 街路整備事業

◆ 事業概要

1. 概要

1) 全体の概要

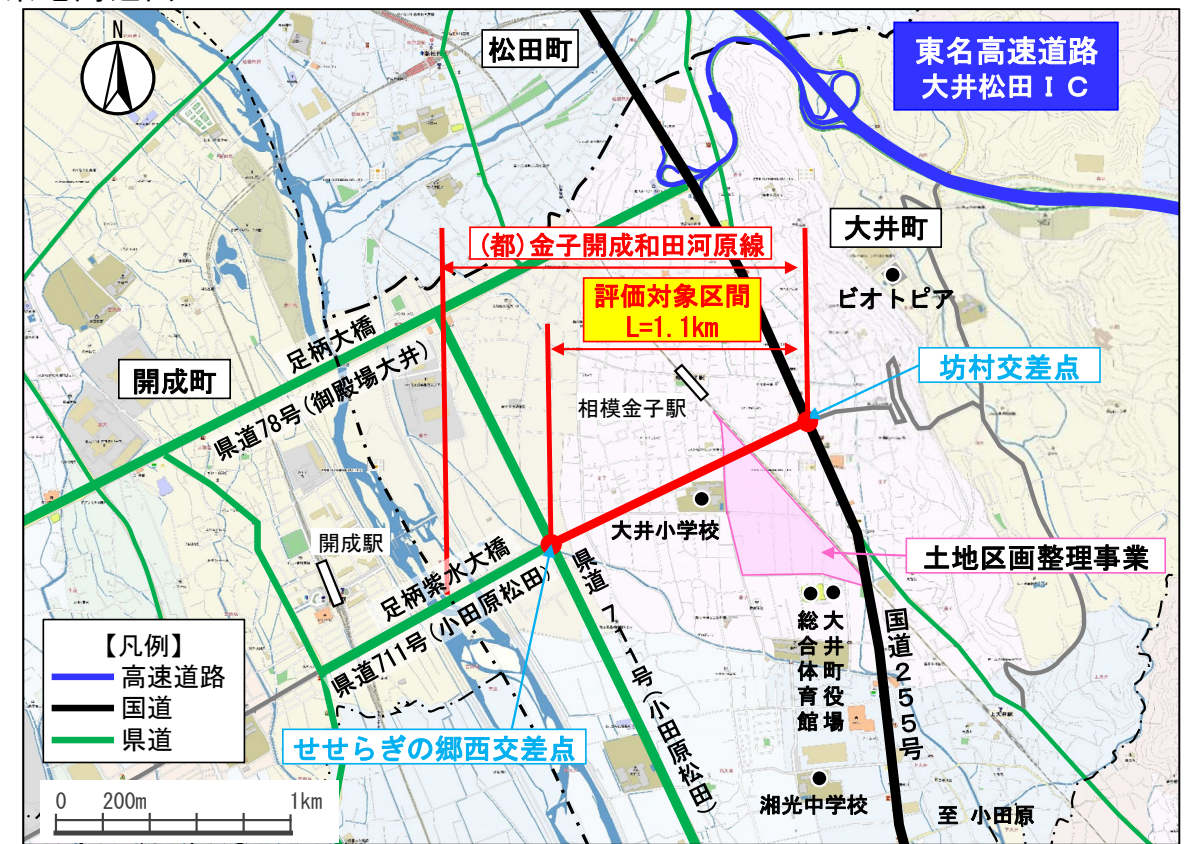
- ア) 本路線は、大井町金子を起点とし、開成町境に至る延長 1.5 km の幹線道路である。
- イ) 本路線は、都市計画道路和田河原開成大井線と一体となって、大井町、開成町及び南足柄市の各市町の中心拠点を東西に結び、広域的な幹線道路である。
- ウ) 本路線は、交通渋滞の緩和や防災機能の強化、また交通利便性の向上や地域経済の活性化など、地域全体のまちづくりにおいて重要な役割を担う路線である。



2) 評価対象事業の概要

- ア) 評価対象区間は、国道 255 号から県道 711 号（小田原松田）までの延長約 1.1 km の区間である。
- イ) 評価対象区間には、JR 御殿場線との立体交差箇所（アンダーパス構造）がある。
- ウ) 評価対象区間の一部区間は、土地区画整理事業地内を通過する。

事業地周辺図



3) 評価対象事業の位置づけ

- ア) 県の計画：
 - a) かながわランドデザイン 第3期実施計画（令和元年7月）
 - ・「交流幹線道路網の整備」として位置づけ
 - b) かながわ交通計画（令和4年3月）
 - ・整備を推進する一般幹線道路網の一部を構成
 - c) 改定・かながわのみちづくり計画（平成28年3月）
 - ・「交流幹線道路網の整備」として位置づけ
- イ) 市の計画：
 - a) おおい都市マスタープラン（平成28年3月）
 - ・開成町、南足柄市との連携強化や新市街地の整備に大きな役割を果たす主要幹線道路として位置づけ

かながわ交通計画一般幹線道路網構想図（抜粋）



No. 2 都市計画道路 金子開成和田河原線 街路整備事業

2. 事業の経緯や必要性

1) 経緯

- ・昭和40年度：当初都市計画決定
- ・平成29年度：都市計画変更
- ・平成30年度：事業認可取得・用地取得開始
- ・令和3年度：工事着手

2) 必要性

- ア) 酒匂川を渡河する東西方向の交通は、県道78号（御殿場大井）に集中しており、東西方向を連絡する道路網が脆弱であるため、道路ネットワーク（東西軸）の強化が必要である。
- イ) 東名高速道路「大井松田IC」へのアクセスを強化し、県西地域の交通利便性を向上する必要がある。
- ウ) 沿線には小学校があるが、周辺の町道は幅員が狭く、歩道が未整備であるため、本路線の整備により、児童等の安全を確保する必要がある。

3. 事業の目的

- 1) 大井町・開成町・南足柄市の道路ネットワーク（東西軸）の強化
- 2) 東名高速道路「大井松田IC」へのアクセス性の向上
- 3) 地域の交通安全の向上

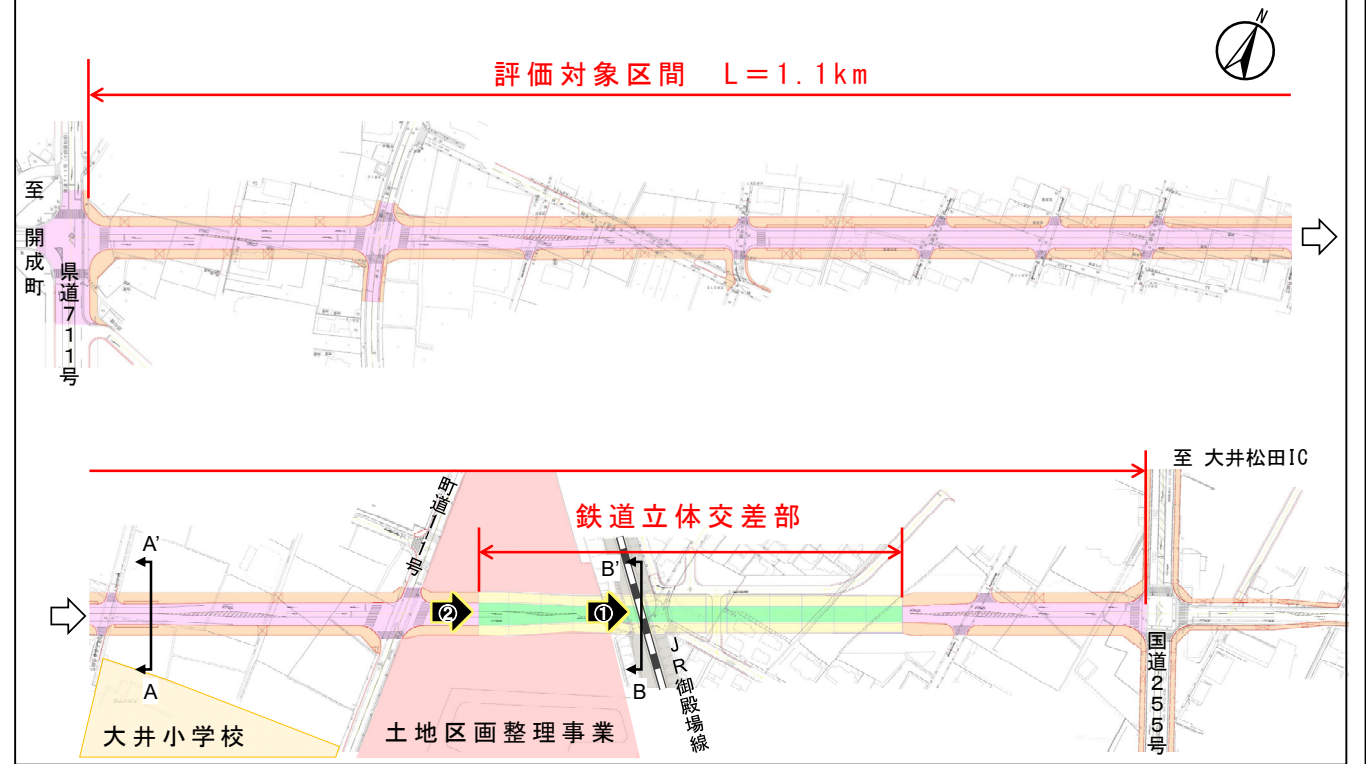
4. 事業の内容

- 1) 起終点：足柄上郡大井町金子～金手地内
- 2) 事業延長：約1.1km
- 3) 幅員：幅員20.0m（一般部）、18.1m（立体部）
- 4) 交通量：計画交通量 11,700台/日（R12推計）
現況交通量 —
- 5) 道路規格：第4種第1級
- 6) 設計速度：50km/h
- 7) 車線数：2車線
- 8) 歩道形態：両側歩道
- 9) 主な工種：道路改良工、函渠工

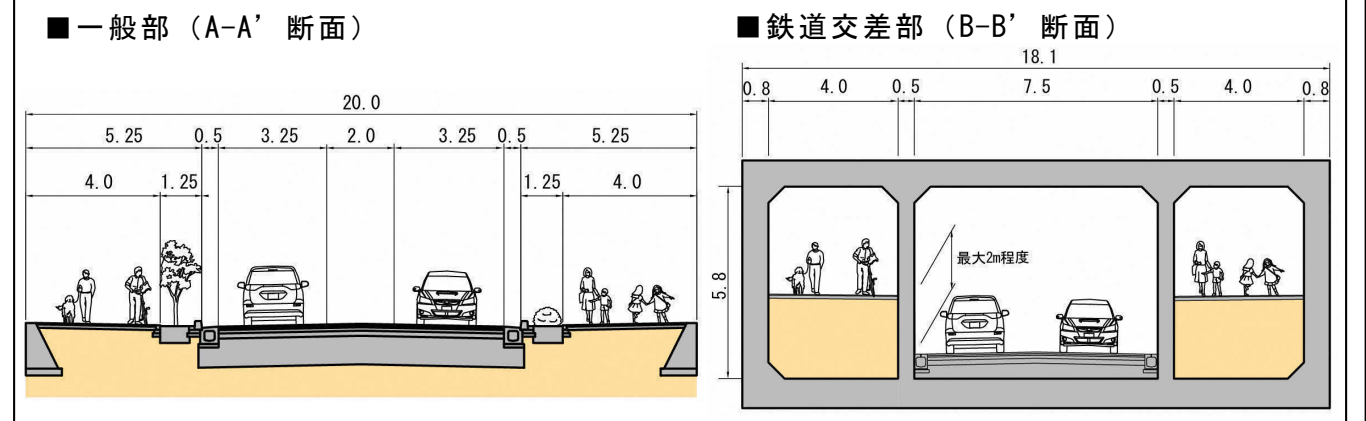
5. 事業実施にあたって配慮した項目

- 1) 鉄道交差部については、道路が鉄道を高架で跨ぐ計画から、地下でくぐる計画に変更することで、周辺地への日照といった生活環境への配慮を行うとともに、隣接する土地区画整理事業の外周道路（町道1-1号）との接続を確保した。

平面図



標準横断面図



鉄道交差部の現状と完成イメージ

■写真①：現在の町道



■図②：完成イメージ



◆ チェックリスト

(1) 事業の必要性等に関する視点

① 事業を巡る社会経済情勢

ア) 地域の状況

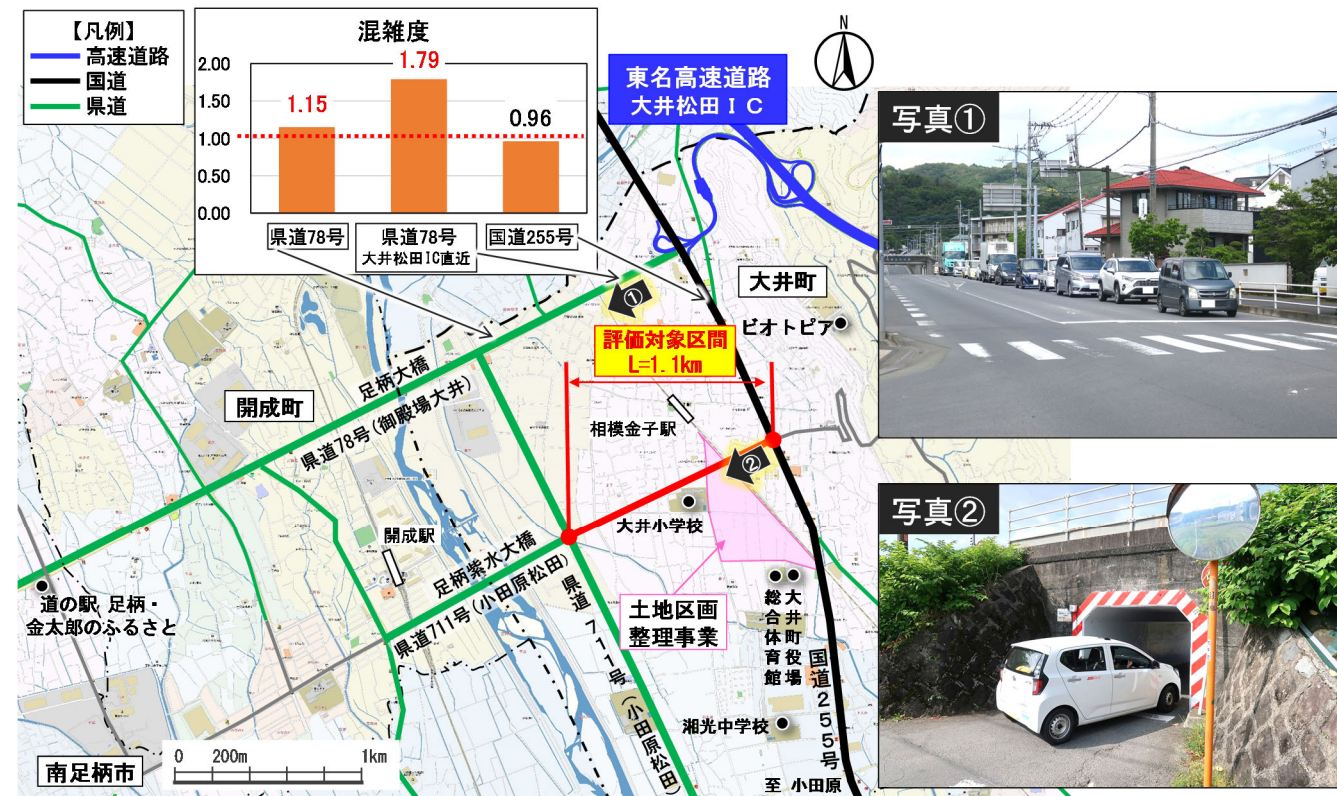
- ・ 評価対象区間の周辺には JR 鉄道駅や町役場、総合体育館など、町の主要施設が立地している。
- ・ 評価対象区間の近傍には大井小学校があり、町指定の避難所に指定されている。
- ・ 評価対象区間の北東には「県西地域活性化プロジェクト」の「未病の戦略的エリア」拠点である「ピオトピア」が立地し、広域からの集客が期待されている。

イ) 事業地の状況

- ・ 評価対象区間に並行する県道78号（御殿場大井）の交通量は13,778台/12h、混雑度は1.15（H27道路交通センサス）であり、特に東名高速道路の「大井松田IC」に近いJR御殿場線の立体部では1.79と高い（写真①）。
- ・ 評価対象区間の近傍には小学校が立地するが、その周辺の町道は、幅員が狭く歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている（写真②）。
- ・ 評価対象区間の西側に続く足柄紫水大橋は平成26年に供用しており、当該区間の整備によるネットワークの強化が望まれている。

ウ) 地元の意識

- ・ 「足柄紫水大橋」の開通後、開成町では人口が平成27年から令和2年までに約8%増えるなど、定住促進が進んでいる。また、令和2年にオープンした道の駅「足柄・金太郎のふるさと」では、昨年度末までの来場者数が約120万人にのぼるなど、観光振興により地域が活性化しており、本路線が国道255号までつながることで生活圏が広がり、利便性が向上することへの期待が高まっている。
- ・ 評価対象区間の整備により、東名高速道路「大井松田IC」へのアクセス性が向上することから、早期の道路整備が望まれている。



② 事業の投資効果等

■ 費用対効果

総費用 C = 36 億円	・ 事業費	: 36 億円
	・ 維持管理費	: 0.6 億円
総便益 B = 64 億円	・ 走行時間短縮便益	: 47 億円
	・ 走行経費減少便益	: 13 億円
	・ 交通事故減少便益	: 4 億円
費用便益比 B/C = 64/36 = 1.8 (社会的割引率 4%)		
経済的内部収益率 (EIRR) 7.2%		

■ 総合的な効果

ア) 安全・安心

- ・ 本路線の周辺町道は、沿線に小学校や町役場などの公共施設があるものの、歩道がなく、抜け道にもなっている。本路線の整備により、これらの通過交通が転換され、周辺町道の交通の安全性が格段に向上する。

■ 現況の周辺町道



イ) 交通利便性向上による地域活性化

- ・ 道の駅「足柄・金太郎のふるさと」や「県西地域活性化プロジェクト」の拠点である「ピオトピア」、「はこね金太郎ライン」への周遊性が向上し、観光客の増加や地域の活性化が期待される。



【再評価】

№. 2 都市計画道路 金子開成和田河原線 街路整備事業

③関係する地方公共団体等の意見

■都市計画道路和田河原・開成・大井線建設促進協議会(南足柄市・開成町・大井町)
 ・令和4年 本路線の建設事業の促進要望(抜粋)
 和田河原・開成・大井線の早期完成に向け、大井町区間の整備を優先的に推進するよう求める。

(2) 事業の進捗の見込みの視点

①事業の進捗状況

- 事業化年度：平成30年度
- 用地着手年度：平成30年度
- 工事着手年度：令和3年度
- 進捗率：24.4% (用地取得率：74.8%)
- 供用率：0%
- 残事業の内容等：用地取得、道路改良工など

②これまでの課題に対する取り組み状況

- ・JR御殿場線を地下でくぐる立体部が大規模な工事となり、時間を要すことから、立体工事に必要な用地の取得を優先的に進めているが、残り1件が未取得となっている。用地交渉では、地域の実情を熟知している大井町の協力を頂きながら、権利者の移転先の候補地を複数提示するなど、きめ細やかな対応に努めている。
- ・工事期間中の通学児童の安全や生活への影響等、近隣住民の不安を早期に解消するため、大井小学校PTA及び工事区間にかかる自治会住民に工事説明会を実施した(令和3年11月に全5回実施)。

③今後のスケジュール：

- ・引き続き用地取得に努め、鉄道交差部工事に早期に着手し、令和9年度の完成を目指す。

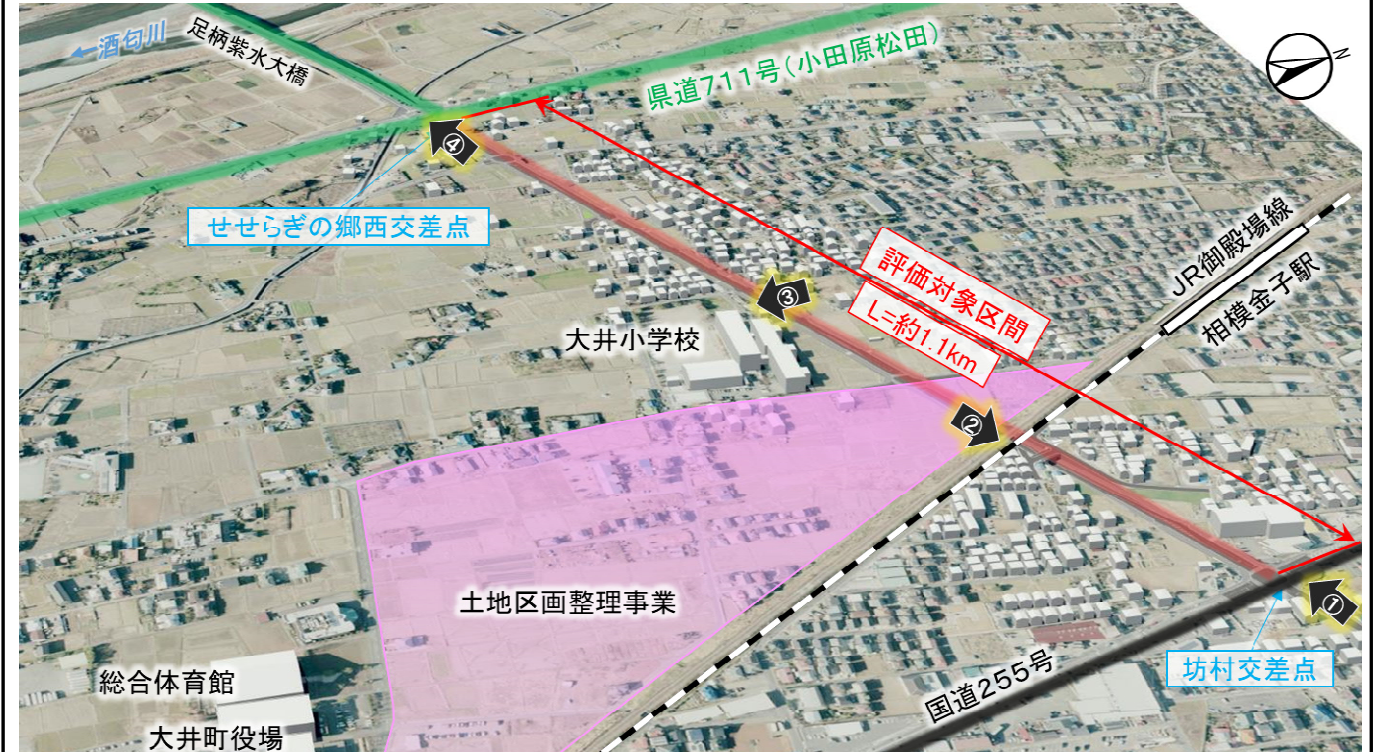
項目	年度					
	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
用地取得	■	■	■			
道路工事 (JR交差区間)		■	■	■	■	■
道路工事 (一般部)	■	■	■	■	■	■

(3) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

■代替案立案等の検討

- ・評価対象区間の西側は既に供用しており、本事業地以西の都市計画道路と一体となって道路ネットワーク(東西軸)の強化を図る必要があることから、代替案は難しく、現計画による整備が最善である。

■評価対象区間の状況



写真① 評価対象区間全景 至開成町



写真② JR御殿場線との交差部



写真③ 児童の通学状況



写真④ 終点(せせらぎの郷西交差点)



◆ 対応方針(案)

継続	<p>【理由】</p> <p>本事業は、大井町と開成町及び南足柄市を結ぶ主要な幹線道路の整備であり、東名高速道路「大井松田IC」へのアクセス強化や歩行者の安全確保など、事業の必要性に変化はなく、重要性は依然として高いことから、事業を継続する必要があると判断する。</p>
----	---